

## 吹 田 市

## 「レジ袋減らそうや～ すいた1万人宣言署名」

～地球にやさしいライフスタイルへの転換の第一歩～

## はじめに

地球温暖化。今日において、このインパクトは人類の予想をはるかに超えるものとなっています。世界各地で異常気象による洪水や干ばつ、氷河の融解などが起こっており、人類を含めた生物の存亡、ひいては地球という星の未来が脅かされています。

こうした中、各国、各地域で環境保全に向けた取組が行われており、日本でも地球環境への意識向上が図られつつあります。地球温暖化の原因となる私たちの身近な日常生活や事業活動を、環境に配慮したものに転換しなければ、快適で持続可能な社会を将来世代に引き継ぐことができない状況にあります。

本市においても、市民・市民団体、事業者等との協働により、省エネ・省資源の推進や自然環境の保全、環境学習・環境教育の拡充に取り組んでいます。

## 経 過

## (1) マイバッグからはじめよう

吹田市では、平成19年9月、「すいたマイバッグ推進ネットワーク」を設立し、市内スーパーでのキャンペーンを開始しました。これまで行政、市民団体、事業者それぞれが別々に行ってきたレジ袋削減・マイバッグ推進運動を三者協働で取り組むことで、より効果的に推進するとともに、私たちのライフスタイル転換の第一歩として、身近に取り組めるマイバッグ持参を位置づけました。

市内のスーパーに出向き、啓発用チラシの配布やアンケート、マイバッグの持参率調査を継続的にを行い、市内でのマイバッグの持参状況を分析し、市民の方々への啓発を進めました。平成20年2月には「すいたマイバッグ推進フォーラム」を開催し、レジ

袋削減方策に関する基調講演やシンポジウムを行い、市民、事業者とともにこれまでの活動の総括を行いました。

## (2) 1万人宣言署名

継続的にマイバッグ推進キャンペーンに取り組みながら、さらなる効果を得るための検討を行う中で、活動メンバー（市民）から一つのアイデアが提案されました。

「レジ袋減らそうや～ すいた1万人宣言署名」と題して、「レジ袋をもらわずに、マイバッグをもって買い物に行くよう努める」という署名を1万人分集めるといふものです。

この署名活動には、二つのねらいがあります。まず一つ目は、1万人という数の力を活用し、現在進めているレジ袋削減・マイバッグ推進運動を勢いづけ、さらなる拡大を図ろうというものです。

二つ目は、取組を進めるうえで、事業者の方々のモチベーションを向上させるというものです。マイバッグ持参を推進するためには、事業者（小売店舗）自身の取組はもちろんのこと、行政の支援や市民（消費者）の後押しが不可欠なものとなります。1万人の署名を集めることにより、市民の後押しを目に

マイバッグキャンペーン



見える形にし、事業者の取組を促したいとの考えがありました。

## 署名活動の概要

### （１）署名活動開始

平成20年11月から、継続的に行っているキャンペーンにおいて、また、各種のイベントにおいて買い物客や参加者への署名活動を開始しました。

活動メンバーにより署名を求められた市民の方のほとんどが、快く応じてくださり、これまでのキャンペーンの効果を確認することができました。

また、本市職員や学校教職員、市内におけるISO 14001などの環境マネジメントシステム認証取得事業者などからも精力的に署名を集めました。

### （２）協議会の設立

これまで「すいたマイバッグ推進ネットワーク」で進めてきたレジ袋削減・マイバッグ推進運動をさらに拡大するため、消費者団体や市民団体、自治会、市内スーパーなどに加わっていただき、平成21年1月「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を設立しました。

これにより、1万人署名活動自体も協議会で取り組むこととなり、自治会や消費者団体、スーパーを含めた事業者の更なる協力が得られ、1万人達成に向けての弾みとなりました。

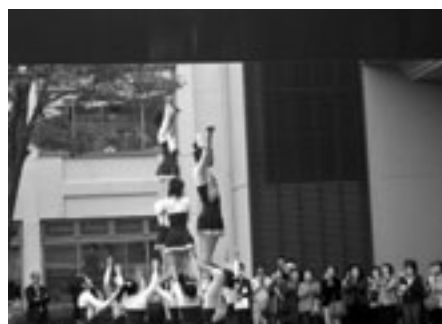
### （３）1万人宣言署名達成

平成21年3月初旬、昨年11月から進めてきた署名が1万人に達しました。市民・事業者・行政が互い

の特長を活かしあいながら協働で汗をかいた結果として、達成できたものです。

平成21年3月5日、1万人署名達成を記念し、吹田市長、市議会議長による署名式典を開催しました。式典当日、署名活動にもご支援をいただいた地元大阪学院大学より、チアリーダー部と吹奏楽部に来ていただき、盛大に開催させていただきました。

チアリーダー演舞



## 活動の総括と今後の展開

平成21年3月23日現在、署名数は約3万に達しています。今回の署名活動により、多くの市民の方々にマイバッグ持参について知っていただくことができ、また、賛同を得ることができました。同時に、本市における市民の皆様の環境意識の高さを改めて確認させていただく機会となりました。

今後も署名活動を続けながら、「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」において検討を重ね、活動目標や具体的取組、市民（消費者）・事業者（店舗）・行政それぞれの役割を明確にし、市域における大幅なレジ袋削減を図っていくとともに、これをきっかけとして、私たちのライフスタイルの転換につなげていきたいと考えています。

市長・議長署名

